

議員

中井之見
島七郎
木田治
作
内出猪十郎

大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭
此賦課等級額左ノ如シ
一 大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭
二 大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭
三 大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭
四 大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭
五 大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭
六 大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭
七 大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭

第一號

大正七年度府税戸数割賦課方法議案

一金十參百四拾八圓四銭

福生村頁担

但大正七年四月一日現在戸数四百七十三戸一戸一付金貳圓八拾五銭

此賦課等級額左ノ如シ

等級	單位賦課額	戸数	稅額	等差	標準
一	六五二・八〇〇	一	六五二・八〇〇	地租所得稅 國稅營業稅 府稅營業稅及雜糧稅	納額千五百圓以上
二	三五四・七四〇	〇	〇	全千五百圓未滿	千圓以上
三	三四一・三〇〇	〇	〇	全千四百圓未滿	七百圓以上
四	一七〇・四〇〇	〇	〇	全七百圓未滿	五百圓以上
五	一二〇・七六〇	〇	〇	全五百圓未滿	三百五十圓以上
六	八三・九〇〇	〇	〇	全三百五十圓未滿	二百五十圓以上
七	五九・九六〇	〇	〇	全二百四十圓未滿	百六十圓以上

八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
三九九四	三二四二	二六四六	二二二〇	一八六六	一五八二	一三三七	一二二八	一〇八六	九四四	八一八	六七一八	五三三〇
二	・	・	・	・	二	・	三	四	三	一	・	五
七九八八	・	・	・	・	三一六四	・	三六八四	四三四四	二八三三	八一八	・	一八九六
全百六十月未滿	全百三十月未滿	全百月未滿	全八十五月未滿	全七十月未滿	全六十月未滿	全五十月未滿	全四十月未滿	全三十月未滿	全二十月未滿	全十月未滿	全五月未滿	全二月未滿
百二十月以上	百月以上	八十五月以上	七十月以上	六十月以上	五十月以上	四十月以上	三十月以上	二十月以上	十月以上	五月以上	二月以上	一月以上

二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三
五六一〇	五四六〇	四四八〇	三九二〇	三三四〇	二七八〇	二二八〇	一八六〇	一五〇〇	一二二〇	一〇〇〇	八六〇	七二〇
二	一	五	八	七	九	一五	二四	二四	四八	二四	二三	四一
一一二四	五〇六〇	二二四〇	三一三六	二三三八	二五〇二	三四二〇	四四六四	三六〇〇	五八五六	二四〇〇	一九七八	二九五二
全二十月未滿	全十八月未滿	全十六月未滿	全十四月未滿	全十三月未滿	全十月未滿	全八月未滿	全六月未滿	全五月未滿	全四月未滿	全三月未滿	全二月未滿	全一月未滿
十八月以上	拾六月以上	十四月以上	十二月以上	十月以上	八月以上	六月以上	五月以上	四月以上	三月以上	二月以上	一月以上	一月以上

合
 下
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

大正十一年四月三日 縣出

西...

一、議事録

志等 電人

田村 半十郎

貳等 十

參等 十

四等 十

五等 十

六等 十

七等 十

八等 貳人

井上 久右門 一等本八十次郎

九等 十

拾等 十

拾壹等 十

參拾等

貳拾參人

石川友次郎

石川佐市郎

一

石川仁三郎

野島七之助

一

野島重太郎

森田惣八

一

兎島石藏

森田重助

一

小林伊勢松

石川半十郎

一

兎島權太郎

森田光三郎

一

森田梅吉

大久保甚五郎

一

早野捨次郎

川村興一

一

參拾等

九人

天野和七

乙津兼吉

一

野島夕マ

小山文五郎

一

森田茂兵衛

佐伯八重次郎

一

石川森藏

森谷真三郎

吉澤政三郎

參拾貳等

拾貳人

野島平次郎

平井平二郎

一

木下角次郎

竹田富藏

一

石川文作

小峰照三郎

一

森田富吉

森田十七吉

一

參拾參等

拾參人

乙津園吉

野島春吉

一

島田食之助

兎島熊藏

一

森田和十郎

小林由太郎

一

吉澤孫次郎

中村松五郎

一

森田龍吉

森田

一

參拾四等

貳拾參人

石川政二郎

細谷岩吉

一

長田鶴吉

一

東京府西多摩郡...

野島清次郎	奇藤馬藏	森田秀藏
中村栄次郎	中村繁太郎	野島福太郎
石川寅吉	飯野左五郎	上村義三郎
天野喜助	小林孫七	森田吉三郎
筒井宝平	深沢金三郎	鈴木文次郎
森田仁三郎	宮崎巳喜藏	山崎忠次郎
石原政助	持田孫太郎	
参拾五等	拾七人	
船木宗欽	野島忠兵衛	成井啓十郎
春藤藤吉	濱中森吉	坪倉甚作
壽崎光右卫門	石川勘次郎	坂本平作
天野新五郎	右原利右卫門	小泉清次郎
関竹次郎	西村吉作	中込徳明

中島彌十郎	内野彌三郎	
参拾六等	拾人	
野島吉五郎	野島道之	森田米藏
柴田昇吉	小高巳代吉	森田吉藏
加藤逸作	篠田龍太郎	吉沢喜代次郎
天野金七		
参拾七等	拾五人	
石川吉五郎	小林直勇	寺井栄太郎
田代寅藏	清水興七	小峰権之助
後藤園吉	師角太郎	中村龜次郎
高橋泰藏	島田頼	森田留吉
山崎孫三郎	加藤徳兵衛	武田曜之助
参拾八等	四拾七人	

一福生村字加美一五七三番、地先

一全 全 一五三四番、地先

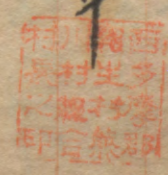
一全 全 一五五〇番、地先

一全 全 一五五五番、一五五四番、地先

右水路施工ノ為メ横断堀鑿

大正七年四月二十二日提出

福生村熊川村組合村長高崎治平



Faint blue ink bleed-through text from the reverse side of the page.

村費支辨道路使用ニ付條件

第一條 使用ヲ許可スル箇所、願書ニ添付ノ圖面ニ表

示ノ箇所トス

第二條 使用ノ目的ハ願書ニ記載ノ通りニシテ他ニ使用スル

コトヲ得ス

第三條 使用ノ期間ハ大正七年五月一日ヨリ大正十年十

二月三十一日迄トス

第四條 使用ノ目的ハ本村ノ許可ヲ受クルニテラサレバ変更

スルコトヲ得ズ其權利ヲ他人ニ移ストキ亦同ジ

第五條 道路堀鑿又ハ踏切工事中、道路又ハ橋

梁ヲ設ケ通行ニ支障ナカラシム

倉庫建設ノ為メ交通ヲ遮断スル箇所ニ對シテハ其

遮断前ニ於テ見返道路ヲ新設スベシ(添付圖面ノ箇所)

又小ナニ

道ニ編入ト事

新田林道川林野分林野ノ新田平

大田力75- 田511- 田511

ノチノチ

古道ノ限成野由ニ基キ前費蘇明道ニ歸入ス其領ノ實計

ノ其是ノ西ノ田 蘇明道

1500ノ新田

同林野海蘇明道ニ基キ高王道ニ合ス

西ノ蘇明道ニ林野分東ノ蘇明道ニ合ス

新費蘇明道ノ實計

新田

理由書

本道路ハ從來村費支辨道ニ屬轉近農工業ノ發達ニ伴ヒ
 車馬ノ交通ニ日ニ月ニ頻繁ヲ加ヘ殊ニ本道ニ前記字東ノ青梅八
 王子道ヲ分岐シ宇武藏野ニ於テ埼玉道ニ合ル本村ノ東西縱貫ス
 ルニ真髓ノ一要路ニシテ本郡東秋留村以西五日市町方面ヨリ東
 方北多摩郡村山村ヲ經テ田無町及埼玉縣所澤町方面ニ通シ
 將來益々交通ノ繁劇ナル期ニテ想像スベキモ如何セン目下問道
 トシテ取扱ヒアルガ爲メ山田泥濘ノ箇所多ク車馬ノ交通困難ニシ
 テ物資ノ集散ニ支障不尠然レモ前記五日市町方面ヨリ田無
 町所澤町ニ通ズル捷路ナルガ故ニ此方面ニ實ハ本道ニ依リテ
 運輸セラルハアリ加フニ當村ノ製糸業發達ニ伴ヒ
 糸未酒石炭等ノ集散繁ク地方ノ盛服
 モ過言ニアズ是レ地方而給力ノ要求ガ此添助

高算新法

鐵比

彭常情此

蕭人

大士卡氣東京市一町南陽須江林清人自以新算

第八卷

大正七年度東京府多摩郡熊川村歳入追加豫算

歲入

經常部

算

算

豫

算

說

明

附記

三國庫
下渡金

義裕教育
費下度金

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

ハ
五
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

[illegible]

1030

三三三

卷之六

歲入合計

三十三
五。

黃下渡金

三十三

三。二
五九。

三十三。

百子抄七四卷

第三
款 繰越金ヲ第四款トシ以下順次各款ヲ繰下ゲ

歲出

經部

豫

纂

豫

纂

説

明

義教育費下度金
山本支取
廿百六十元
於七月
於五月

科目
追加
豫算額
増減
附記

示學校費
給料
二三三〇

正務員給料

二三三〇

増減

附記

正務員給料

二三三〇

増減

附記

經常部計
二三三〇

歳出合計
二三三〇

大正七年四月

福生

科目

算額

増減

附記

經常部

人

金田政吉

大正七年第五回

一告知事件左

第一、電気事

第二、電気事

第三、電気事

第四、石炭部

大正七年五月十九日

出席議員左

七番

八番

九番

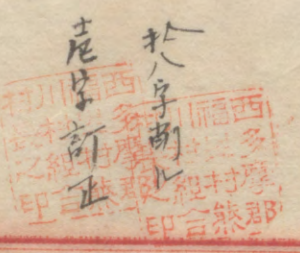
十番

壽崎下

高橋

高橋三郎

金田政吉



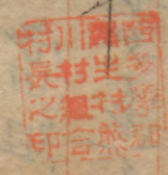
第一號

電氣事業経営に付臨時調査委員設置議定書

福生村熊川村組合營造物トシテ電氣事業ヲ経営セシ
トスルニ付ヤ之レガ調査ノ為メ臨時調査委員ヲ選出ス
モノトス 其定數ハ拾名トス

大正七年五月二十九日提出

福生村熊川村組合村長高崎石平



理由

熟々現時ノ状態ヲ稽フルニ國民ノ生存上必要ナル物資ハ自
給自足ノ途ニ據ル外ナシ固ヨリ凡テノ物産莫クシテ其
待ツト謂フカ如キハ到底行ハルベキニ非サルモ當組合ニ
合資農上生産工業及ヒ村民經濟ノ基礎的材料ハ必ズ自給